



TITLE:

《展示会》(2) 日本の“生物学”前夜 と夜明け展

AUTHOR(S):

CITATION:

《展示会》(2) 日本の“生物学”前夜と夜明け展. 静脩 1988, 25(2): 9-9

ISSUE DATE:

1988-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37022>

RIGHT:

トピックス

《展示会》(1)

ジャーナリズムの源流

—上野文庫の紹介—

このたび、経済学部創設70周年を記念して、同学部に所蔵している「上野文庫」（本号3～5頁に紹介）の一端を紹介するため、同文庫から代表的な資料約100余点を展示することになった。

記

日 時：昭和63年11月15日(火)～22日(火)

午前9時30分～午後4時30分

会 場：附属図書館展示ホール（3階）

展示資料の概要：

- ・ Neue Zeitung, 1522 The Spectator, 1711
—1712等、新聞のオリジナル。
- ・ Milton: Areopagitica, 1738 等 新聞の自由にかかわるもの。
- ・ W. Godwin, E. Burke, T. Carlyle 等の
自筆書簡

◎一般公開、入場無料

共催：経済学部
附属図書館

《展示会》(2)

日本の“生物学”前夜と夜明け 展

現在、教養部生物学教室には、旧制第三高等学校時代に当時の教官が中心になって集めた資料・標本が残されている。今回これらを中心に、その後追加されたものも含め、日本で近代的生物学が一般化した前後の時期を「日本の“生物学”前夜と夜明け」と題してたどって見ることにした。

日時：11月7日(月)～30日(水)

午前：9時～午後5時(土曜日は3時まで)

場所：教養部図書館展示コーナー（1F）

(教養部)

第4回日米大学図書館会議を開催

来る10月4日から6日にかけて、合衆国ウィンスコンシン州ラシーヌにおいて標記会議が開催されることになった。

我が国から、国立・公立・私立の各大学等30数名の代表団が参加する。

今回のテーマは、“Strengthening the U. S.-Japan Library Partnership in the Global Information Flow”で、主な議題は

- ①CJK (Chinese, Japanese, Korean) ファイルの発展と利用について
- ②新しい技術を中心とした図書館資料の保存について
- ③データベースの発展について
- ④ネットワークの発展について

である。

本学から西田館長が参加の予定である。

目録システム講習会を開催

学術情報システムの一つの柱である“目録・所在情報の形成”を推進するため、より多くの目録担当者の養成が迫られている。

各図書館の担当者が、学術情報センターの目録システムに精通し、目録・所在情報サービスの一層の促進を図るため、同センターと本学附属図書館の共催で下記により目録システム講習会（地域講習会）を開催した。

記

期 間：8月30日～9月2日、9月6日～9日

場 所：附属図書館地域共同利用室

受講者：近畿北部地区（滋賀・京都・奈良）の
各国立大学から20名

なお、第1日目（8月22日）には、学術情報センターの講師から、目録システム概論及び目録情報の基準についての講義があった。